



日本音楽教育学会ニュースレター 第84号

目次

1 学会からのお知らせ

1. 日本音楽教育学会第52回京都大会のご案内(第1報) 田中多佳子 2

2 委員会からのお知らせ

1. 学会賞審査委員会報告..... 今川 恭子 3
2. 会長・理事選挙のお知らせ 高木夏奈子 3
3. 東北地区理事辞任に伴う新理事選出のお知らせ 高木夏奈子 4
4. APSMER2021 東京大会のご案内 水戸 博道 4
5. 編集委員会からのお知らせ..... 小川 容子 5
6. 「音楽文献目録オンライン」無料利用サービスのお知らせ 長野 麻子 5
7. 教科教育学コンソーシアム設立—教科=Competences の結集—..... 菅 裕 6

3 音楽教育の窓

1. 「オンラインセミナー：誰もが参加できる音楽ワークショップの実践」に参加して.. 安久津太一 7
2. 2021年度に開催される音楽教育に関わる学会・研究会等の情報..... 8

4 会員の新聞・近刊等紹介..... 9

5 報告

1. 2021年度 日本音楽教育学会 第1回常任理事会 10
2. 2021年度 日本音楽教育学会 第1回理事会..... 11

6 事務局より 14

[編集後記]

1 学会からのお知らせ

1. 日本音楽教育学会第52回京都大会のご案内（第1報）

大会実行委員会委員長 田中 多佳子

第52回京都大会のテーマは「原点に立ち返って」といたします。そもそもの発端は、本学（京都教育大学）で第1回大会が開催され、半世紀の折り返し地点に当たる第51回を再び本学に立ち返ってと企画されたものでした。予期せぬコロナ禍の混乱を受けて、第51回は本部開催による1日だけのオンライン大会となったため、「第52回京都大会」となりました。コロナ禍との好ましくない共生生活も2年目となり、私たちは否応なくさまざま局面で原点に立ち返って考えることを余儀なくされています。教育とは、音楽とは、伝統文化とは、音楽教育とは、研究とは、学会とは、その大会とは……。様々な存在意義が問い直され、失われつつあるもののかけがえのなさを思い知った今こそ、今できる形や方法を模索しながらも本質を見失うことなく、しなやかにかつしたたかに継続・発展させていかねばなりません。当初からの「京都ならではの企画」も健在です。オンラインを逆手にとり、それだからこそその可能性を追求していきたいと思えます。この機会だからこそ、全国からより気軽に大会にご参加いただけるのではないかと、一同でお待ち申し上げております。

【日程表（暫定）】（オンライン開催）

10月16日 (土)	9:00	12:40	13:30	14:15	14:20	16:10	16:20	17:40
	研究発表（口頭発表）	昼休憩	開催挨拶 KMES 会長 招待講演		実行委員会企画 〈ワークショップ〉 能を学ぶ―「敦盛」			学会賞授賞式 総会

10月17日 (日)	9:00	12:40	13:30	15:00	15:10	16:40
	研究発表（口頭発表）	昼休憩	共同企画			常任理事会企画 〈プロジェクト研究〉

【実行委員会企画ワークショップ：能を学ぶ―「敦盛」】

なぜ「能」を音楽の授業に導入するのか。実行委員会企画では能楽師、河村晴久氏（観世流シテ方・重要無形文化財「能楽」総合認定保持者）を迎えてワークショップを行い、この分野の学習・指導に資することを目的とする。氏は伝統音楽普及促進事業実行委員会を組織、『DVD 能は面白い！羽衣』『DVD 能は面白い！囃子編』など、学校における能学習のための教材開発と指導実践を積み重ねてこられた。活動の重点は、学校教員自らが指導できる力を育成することにある。今回は、まず学会員を対象としたワークショップを行い、そこで得た指導者自身の学習体験をどのように中学生の指導に活用するのか、中学生を対象とした学習と比較・検討する。謡や囃子の背景である能の精神文化についてもお話を伺う。

【院生フォーラム】

「音楽教育」「音楽科教育」のテーマ別に、全国の院生さんたちと自由に話し合える場を作りたいと企画しているところです。ふるってご参加ください。詳細は8月発行ニュースレターの「第2報」及び学会大会ホームページでご案内します。

2 委員会からのお知らせ

1. 学会賞審査委員会報告

学会賞審査委員長 今川 恭子

2021年4月20日開催の学会賞審査委員会（オンライン開催）にて、以下のように、第7回学会賞の受賞者が選ばれました。なお、授賞式は2021年10月16日、日本音楽教育学会第52回大会（京都大会 オンライン開催）にてとりおこなわれます。

第7回学会賞受賞者：須田 珠生氏

授賞対象論文：

「近代日本の小学校にみる校歌の歌詞の変容と郷土との関わり」（『音楽教育学』第49巻第2号）

選出理由：同論文は、教育史研究として資料を丁寧に紐解き、実証性をもって精緻に論理構成されている。校歌の歌詞の変化を読み解くことを通して、1930年代に活発化した校歌制定の動き、時代に伴う校歌の歌詞の変化、校歌が「郷土の歌」になりえたことをめぐって、一つひとつのリサーチクエスチョンが解明されており、校歌が学校という範囲を越えて地域づくりの一端を担ったことを明らかにした興味深い論文である。今後、郷土教育と音楽との関係性や音楽的な観点からの研究の深まりを通して、音楽教育研究とくに音楽教育史研究の発展に資することが期待され、第7回学会賞に相応しいものとして選定した。

*なお、今回は受賞候補論文の中に、審査委員が連名執筆者である論文が含まれていました。そこで審議に先立ち、学会賞審査委員会規定第2条（5）に照らして委員は該当する論文の評価にはかかわらないことを確認したうえで、公正な審査をおこなったことを併せて報告いたします。

2. 会長・理事選挙のお知らせ

選挙管理委員会委員長 高木 夏奈子

今年度は会長・理事選挙の年です。会員の皆様には2021年6月に被選挙者名簿と投票用紙等、選挙関係書類一式を郵送でお送りします。投票締め切りは7月5日（月）当日消印有効となっておりますので、ぜひ投票していただきますようご協力よろしく願いいたします。この選挙は、今後の学会活動の中心的役割を担う会長・理事を選出する選挙です。皆様の貴重な一票により、学会のさらなる発展のためにふさわしい会長・理事が選出されますよう期待しています。

「第25期日本音楽教育学会会長・理事選挙」の投票
2021年7月5日（月）（当日消印有効）締め切り

3. 東北地区理事辞任に伴う新理事選出のお知らせ

選挙管理委員会委員長 高木 夏奈子

このたび東北地区理事の地区移動による辞任に伴い、「会則第三章第 11 条 3」に基づき、東北地区理事の補充が行われることになりました。「会則第三章第 11 条 4」では、地区の次点者をもって補うとされていますが、次点者は 2 名同点だったため、「会長・理事選挙実施要領Ⅱ 6 (3)」に基づき、選挙管理委員会において厳正な抽選を行いました。抽選は、2021 年 2 月 23 日にテレビ会議システム (Zoom) により選挙管理委員 5 名全員が立ち会って行い、その結果、川口明子会員が東北地区の新理事として選出されましたのでお知らせいたします。(なお、「会則第三章第 11 条 3」の規定により、任期は前任者の残任期間である 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日となります。)

4. APSMER2021 東京大会のご案内

APSMER2021 大会実行委員会委員長 水戸 博道

APSMER2021 東京大会のご案内です。まず、残念なお知らせをしなければなりません。

APSMER2021 東京大会は対面での会議を断念し、オンラインで行うこととなりました。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、対面会議の可能性を最後まで探っておりましたが、9 月までに感染状況が収束する見通しはたらず、オンライン大会への切り替えを正式決定いたしました。しかし、オンラインとなっても魅力的な会議とすべく粛々と準備を進めております。現在、発表の申し込みがあったアブストラクトの査読も終わり、いよいよ会議のプログラムを詰めていく段階にきております。今回は先行きが不確定な状況にも関わらず、口頭発表、ポスターセッション、パネルディスカッション、ワークショップなど、合わせて 200 件近い発表が行われる予定です。発表者も中国、香港、マカオ、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、オーストラリア、アメリカなど多くの国々から参加が見込まれており、充実した国際会議となりそうです。

発表申し込みはすでに終了しておりますが、会議への参加は受付中です。8 月 31 日までに参加登録をしていただければ、どなたでも参加できます。しかも、音楽教育学会の会員の方々は参加費が 15,000 円と安くなっております。

今回の APSMER2021 は、オンラインとなったことで、国際会議に初めて参加しようと考えておられる方は、かえって参加しやすい面もあるのではないかと考えております。たとえば、ポスターセッションでは、自由に zoom のブレイクアウトルームを移動し、多くの発表者と討議ができるように考えています。大会場での対面のポスターセッションに比べて、じっくりと討議に参加できるのではないかと思います。会員の皆様の多くのご参加をお待ちしております。

5. 編集委員会からのお知らせ

編集委員長 小川 容子

2021年度第1回編集委員会（5月8日、Teams使用によるオンライン会議）では、投稿原稿の採否について審議を行い、次の通り決定しました。『音楽教育学』に投稿された研究論文16本のうち、3本が採択、再査読が4本、9本が不採択となりました。『音楽教育実践ジャーナル』へは、特集に11本、自由投稿に7本の投稿があり、特集は7本が採択、自由投稿は4本が採択されました。対面会議を実施することが難しいため、今年もオンライン会議での協議・検討が主になるだろうと予想しております。長時間にわたる会議は対面会議以上に緊張の連続ですが、査読の先生方のご意見を含めてさまざまな観点からの意見交換をおこない、委員全員で慎重に議論を重ねております。

投稿規定をご確認ください

電子投稿が始まって、そろそろ半年が経過いたします。これに伴って、『音楽教育学』及び『音楽教育実践ジャーナル』の投稿規定の整理をいたしました。原稿のコピーや郵送等の作業が無くなっておりますので、これに関する項目の削除・修正等です。ダウンロードしていただく書類も必要最小限になるように整えましたので、今一度、学会ホームページをご参照ください。

新編集委員の紹介

本年4月から、吉永早苗委員から松信浩二委員に交代いたしました。松信委員のご専門は、学校教育に関する研究から、多文化教育、国際比較研究など多方面にわたっております。吉永早苗先生、長い間大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

6. 「音楽文献目録オンライン」無料利用サービスのお知らせ

音楽文献目録委員 長野 麻子

2021年4月1日より「音楽文献目録オンライン」がスタートしました。本サービスは国際音楽文献目録委員会（RILM）日本支部が冊子体で刊行してきた『音楽文献目録』を新たにオンラインデータベースで提供するもので、母体団体である日本音楽教育学会の会員は無料で利用することができます。「音楽文献目録オンライン」では音楽教育はもとより、西洋音楽、日本音楽、民俗音楽、ポピュラー音楽、音楽に関わる文学、宗教学、社会学、アートマネージメント、ジェンダーなど幅広い分野にわたり選定された国内の文献情報をウェブで検索・閲覧することができます。4月のスタート時点では直近の文献を中心としたデータベースに限られますが、今後、既刊の『音楽文献目録』も網羅したデータベースに更新されますので、会員の皆様の教育研究にぜひお役立てください。

【利用方法】

- ・日本音楽教育学会ホームページの「会員専用ページ」から利用できます。
- ・「会員専用ページ」にログインし、「音楽文献目録オンライン」のリンクボタンをクリックしてください。「音楽文献目録オンライン」に自動でログインできます。
- ・なお「会員専用ページ」からの利用は日本音楽教育学会会員に限ります。

「音楽文献目録オンライン」は法人または個人で購読することができます。ご所属の機関の図書館や研究室などでの団体利用もおすすめます。詳しくは音楽文献目録委員会ホームページ(<http://rilim.jp>)をご覧ください。音楽文献目録委員会事務局までお問い合わせください。

7. 教科教育学コンソーシアム設立—教科=Competences の結集—

教科教育学コンソーシアム理事（日本音楽教育学会会長特命） 菅 裕

このたび会長特命（教科教育学コンソーシアム担当）を拝命しました。今後日本音楽教育学会を代表して教科教育学コンソーシアム（以下コンソーシアム）に理事として出席します。日本音楽教育学会とコンソーシアムをつなぐ連絡係として教科教育学研究領域における日本音楽教育学会のプレゼンスの向上にわずかでも貢献できるよう努力いたします。

コンソーシアムは、「教育、学校教育ならびに教科教育に関して、加盟する学協会、国内外の研究機関・研究者及び実践者の相互の交流」を通して、以下の3点を目的としています。

- (1) 教科教育学に関連する学協会（学術研究団体）等の相互の交流と連携を促進する。
- (2) 教科教育学に関連する国内外の研究者、教育者、行政官及び市民の交流と連携の場を提供する。
- (3) 将来の教育、学校教育ならびに教科教育に関するビジョンや研究のパラダイムを提案する。

コンソーシアムは、上記の目的を達成するために以下の活動を行います。

- (1) 年1回以上の研究交流会の開催。
- (2) 教科教育学に関連するオンライン・レビュー雑誌の出版。
- (3) 教科教育学に関連する教育制度・教育政策や学術研究に関する提案。
- (4) その他、目的に合致する研究、広報、出版等。

特に研究交流会とオンライン・レビュー雑誌については、加盟する学協会の会員に対して今後広く参加の呼びかけが行われることになると思います。新しい情報が入り次第お知らせいたします。

3月14日土曜日に開催された設立会議において規約が決議され、日本音楽教育学会を含む8学協会の加盟によりコンソーシアムが正式に発足しました。その後、3学協会の追加加盟が決定し、現在下記11学協会が加盟しています。

全国社会科教育学会／全国大学国語教育学会／日本音楽教育学会／日本学校音楽教育実践学会
日本家庭科教育学会／日本環境教育学会／日本教科教育学会／日本社会科教育学会
日本数学教育学会／日本体育科教育学会／日本地理教育学会 (50音順)

設立会議後に開催された記念シンポジウムでは、指定討論者として松下佳代氏（京都大学・日本学術会議第一部会会員）らが招かれ、50年にわたる教科教育学の学問史・研究史を振り返り、教科教育学の存立基盤と未来に向けた可能性についての討論が行われました。この中で松下氏は、ある状況での課題に対応するためには様々な「教科=Competencesの束」による多様なアプローチが必要であり、各教科の固有の特徴を把握した上でそれらを結集することが不可欠であると述べています。今後の社会が期待・要請するコンピテンシー育成に関わって、音楽科教育が何をどのように提供できるのかについて、教科教育全体を視野に入れた俯瞰的な立場から検討することが求められているのです。

その他コンソーシアムに関する詳しい情報についてはこちらをご覧ください。

教科教育学コンソーシアム Web サイト : <https://jcospa.org/>

3 音楽教育の窓

1. 「オンラインセミナー：誰もが参加できる音楽ワークショップの実践」に参加して

安久津 太一（岡山県立大学）

2021年3月9日、16日（いずれも17:00-18:30p.m.）の2回に亘り、ブリティッシュ・カウンシル及び川崎市が主催の「オンラインセミナー：誰もが参加できる音楽ワークショップの実践」に参加させていただいた。英国のドレイク・ミュージックのワークショップリーダーによるセミナーで、子どもたちが障害のあるなしにかかわらず音楽を楽しむことができる音楽ワークショップがテーマだった。印象的だったのが、1) Attunement, 2) Not play to, play with, 3) To enrich our society といった枠組みである。Attunement は、一般的には楽器の調律という意味も有するが、ここでは参加者が、与えられた音楽的環境に慣れるための時間として位置付けられていた。例えば、最初に、いきなり提供側が子どもたちにクラリネットを演奏し、肢体不自由や言葉を話さない子どもたちが発する表情やしぐさを観察して、参加者の興味関心に気付く十分な時間を確保することが工夫として挙げられた。演奏をしながらじっくり子どもの様子を観察し、長いと15分以上、ただ演奏を聴かせるのではなく、初めて接する音楽や楽器の音色へのバリアを拭い去る配慮が織り込まれていた。例えば初めて接する音に向かって、子どもが音を手でつかむような仕草をする際には、演奏者がだんだん近づいていき、さらに参加者に楽器に実際触れてもらいながら、音の振動を体験しつつ演奏するなど、具体的な事例が紹介された。音に視線を向ける児童もいれば、逆に目をそむける場合もあり、全てを受け入れるという寛容な姿勢を持つことの重要性も指摘された。次にそれを生かして Not play to, play with を方向とした参加型の活動が位置付けられていた。Play with では、ICT も活用され、肢体不自由児でも演奏に参加でき、そこから派生する即興的な呼びかけとこたえや、児童生徒の音に大人が呼応する場面も多いことが示された。

第2回のセッションでは、より実践的な内容が、事例の動画と共に示された。特にICTの活用が話題の中心だったが、その意義として「電子テクノロジーの支援がなければ参加が難しい学習者の音楽体験を増幅させるため」との方向性を明確に示していた。実践の具体例や映像も含まれ、例えば Sonic Signature と呼ばれる活動では、参加者一人一人と時間をかけて対話をしながら、必要な楽器選択をし、それぞれの「音楽のサイン」を創作する実践が紹介された。その他、AUMI (Adaptive Use Musical Instrument) 等の先端的なツールや事例の動画も含め、「5秒でうまくいく活動」「ティーネージャーもカッコ良いと思える」教材を取り入れる必要性など、実践的な内容の紹介もあった。セッション最後には、2日間でよく使われた日本語のフレーズを参加者が自由にチャットに書き込み、それらの言葉を使い、講師がAUMIを使いながらリズムや曲調を変化させてDJ役を務め、参加者がラップ調で演奏する試みが加えられた。もちろん最高に楽しい活動で2日間に亘るセッションの締めくくりとなったが、講師からのメッセージとして、ワークショップをする時は、Taking a risk (リスクをとること) が重要との言葉も印象的だった。総じてハンディのある人に演奏を聴かせ、何かを「やってもらう」ではなく、一人のアーティストと捉え、参加を得ることで、音楽を通じて To enrich our society を目指す方向が、明確に示され、共有された。

2. 2021 年度に開催される音楽教育に関わる学会・研究会等の情報

6月11日(金)・12日(土)	日本赤ちゃん学会第21回学術集会
場所: オンライン開催	URL: https://www2.jsbs.gr.jp/SCIENCE/index.html
6月12日(土)	日本民俗音楽学会第12回民俗音楽研究会
場所: 長崎歴史文化博物館&オンライン開催	URL: http://s-jfm.org/
6月19日(土)・20日(日)	日本音楽表現学会第19回(天翔るペガサス)大会
場所: オンライン&誌上開催	URL: http://www.music-expression.sakura.ne.jp/meeting/meeting-top.html
6月20日(日)	日本オルフ音楽教育研究会:2021年度第34回カール・オルフの音楽教育セミナー
場所: オンライン開催	URL: https://www.orff-schulwerk-japan.com/
6月26日(土)・27日(日)	日本音楽知覚認知学会2021年度春季研究発表会
場所: 神奈川大学横浜キャンパス&オンライン開催 (コロナ禍により変更の可能性あり)	URL: http://jsmpc.org/meetings/
6月26日(土)・27日(日)	日本カリキュラム学会第32回琉球大学web大会
場所: オンライン開催	URL: http://jscs.b.la9.jp/meeting/meeting.html
8月21日(土)	日本学校音楽教育実践学会第26回全国大会
場所: オンライン開催	URL: http://www.jassmep26.jp/
8月25日(水)~27日(金)	日本教育学会第80回大会
場所: オンライン開催	URL: http://jera80.jp/
8月27日(金)	全国大学音楽教育学会第36回全国大会
場所: オンライン開催	URL: http://www.nacome.com/2021zenkokutaikai.html
9月18日(土)・19日(日)	Asia-Pacific Symposium in Music Education Research(APSMER)
場所: オンライン開催	URL: https://apsmer2021.jmes.me/
9月18日(土)・19日(日)	日本コダーイ協会全国大会2021 in 竹田
場所: 竹田市総合文化ホールグランツたけた	URL: http://kodalv.jp/
9月25日(土)・26日(日)	教育史学会第65回大会
場所: 神戸大学 (開催形式は未定)	URL: http://kyouikushigakkai.jp/
9月25日(土)・26日(日)	日本教育方法学会第57回大会
場所: 宮城教育大学 (オンライン開催検討中)	URL: https://www.nasem.jp/
9月25日(土)・26日(日)	日本教科教育学会第47回全国大会
場所: 大阪教育大学 (オンラインでの開催予定)	URL: http://jcrda.jp/
9月25日(土)・26日(日)	日本音楽療法学会第21回学術大会
場所: 朱雀メッセ (新潟コンベンションセンター) & オンライン開催	URL: http://www.gakkai.co.jp/jmta21/
10月2日(土)・3日(日)	日本教師教育学会第31回研究大会
場所: オンライン開催	URL: https://jsste.jp/research/conference/
11月7日(日)	音楽学習学会第27回研究発表大会
場所: 椋山女学園大学 (コロナ感染症の状況により変更の可能性あり)	URL: https://jsml.jp/
11月13日(土)・14日(日)	日本音楽学会第72回全国大会
場所: ハイブリット形式	URL: http://www.musicology-japan.org/activity/activity_main.html
11月14日(日)	日本ダルクローズ音楽教育学会第21回研究大会
場所: オンライン開催	URL: http://www.eurhythmics.jp/kiseki.html
12月[暫定]	日本民俗音楽学会第34回大会
場所: 同志社大学 (予定)	URL: http://www.eurhythmics.jp/kiseki.html
1月9日(日)	初等教育カリキュラム学会第6回大会
場所: 未定	URL: https://secc-web.com/
全日本音楽教育研究会全国大会八戸・三戸大会(総合大会)	
場所: 誌面開催	URL: http://www.jsme.net/ivent.pdf

4 会員の新刊・近刊等紹介

★細川匡美 著『ジャック=ダルクロワズの教育観の発展—新教育思潮におけるリトミック—』

風間書房 2021/3/24 A5判・178頁 ISBN: 978-4759923674 [本体5,500円+税]

本書はリトミックを創案したジャック=ダルクロワズの教育観が新教育思潮の中で、芸術家のための「音楽への教育」から子どもの視点に立った「音楽による教育」へと発展した経緯を考察したものである。

★平野次郎 編著, 岩井智宏/松長誠 著『「教える」から「学びを深める」うた授業へ—常時活動から歌唱共通教材、合唱へとつながる新しい学び方—』ヤマハミュージックメディア 2021/3/27

B5判・126頁 ISBN: 978-4636978476 [本体2,200円+税]

「どの子どもどの先生も安心して歌の授業にのぞめる環境をつくること」を共通視点として、学習指導要領と絡めてこれからの歌唱について考えた。活動では、結果ではなくプロセスにどれだけ価値を見出せるかを大きなポイントとした書籍である。

★小野亮祐/安田寛 著『バイエルの刊行台帳—世界的ベストセラーピアノ教則本が語る音楽史のリアル—』音楽之友社 2021/4/30 四六判・272頁 ISBN: 978-4276212596 [本体2,500円+税]

印刷部数と印刷日時を克明に記した出版社の業務記録「刊行台帳」を手掛かりに、教則本『バイエル』と音楽家A.F. バイエルを巡る諸相を明らかにしながら、新たな音楽史のリアルに迫る。

★大熊信彦/酒井美恵子 著『評価事例&ワークシート例が満載! 中学校音楽新3観点の学習評価完全ガイドブック』明治図書出版 2021/6/4 B5判・144頁 ISBN: 978-4183954176 [2,420円]

新学習指導要領下における3観点及び中長期的、短期的な評価方法を詳細に解説。具体的な題材計画とワークシート例による評価事例から、授業改善への生かし方や評定への総括の方法も理解できるため、授業ですぐに役立つ書籍となっている。

広報委員会では、「会員の声」への皆様のご投稿、「音楽教育の窓」への情報をお待ちしております。また、「会員の新刊・近刊等紹介」では、書籍、CD、DVDなどのリリースの情報をお知らせください。基本的な書籍情報、音源情報に加えて、「である調」90字程度の紹介文をお願いします。

次号ニューズレター第85号(8月18日発行)はウェブ版と紙媒体両方でのお届けです。ウェブ版の会員用ニューズレターは、学会ウェブサイトの「マイページ」にアクセスしてご覧ください。ウェブ版の一般公開用は、従来通り、トップページにある「ニューズレター」のバナー、または、「Topics 更新情報」からご覧いただけます。

投稿先アドレス (半角で) onkyoiku@remus.dti.ne.jp

5 報告

1. 2021年度 日本音楽教育学会 第1回常任理事会

日 時：2021年4月24日（土）13:00～14:20

場 所：オンライン開催（Zoom）

出席者：今川、本多、木村、石上、権藤（記録）、齊藤、佐野、嶋田、杉江

第1回理事会と重なる議案については、理事会での審議・報告とした。

【メール審議の報告・審議事項の確認】

・理事会MLで承認された東北地区選出理事（常任理事）の移動に伴う欠員補充について、常任理事会については今期在任期間の欠員補充は行わないこととした。

【審議事項】

1. 第52回大会について（報告も含む）

(1) 大会実行委員会より（杉江）

大会実行委員会（企画）テーマについて、大会実行委員会に確認することとした。

(2) タイムスケジュールについて（石上・佐野）

5月のニュースレターで大枠を会員に知らせることができるよう、調整を行うこととした。

(3) プロジェクト研究（常任理事会企画）について（石上・佐野）

3つの実践事例を取り上げる予定で、4月にZoomで会議を実施、すでに実践も開始されている。講演についても検討中であり、子どもの学びの深まりに迫る企画にしたいとの報告があった。

(4) 大会発表の成立要件等に関する内規について（今川）

「会員の権利に関する内規」とあわせてウェブサイトに掲載されている「大会の発表等に関する内規」を改正し、独立して「大会発表の成立要件等に関する内規」として規定することを承認した。内規を守っていないと判断された場合には、発表の成立要件を満たさないこととする。

(5) その他（木村）

会員参加費を4,000円、学生1,000円、発表申込・要旨の締切6月15日、参加申込期限9月24日、参加費振込期限9月30日のスケジュールであることが報告され、承認された。今年度は非会員参加を認めるが、当日受付はできないため、非会員も申込用Webサイトから申込できるよう調整中であること、総会に関しては会員用に別ID設定で対応することが報告された。

2. アンケート資料の扱いについて（今川）

1987年に本学会教育課程研究推進委員会の調査研究班が実施した調査研究「小中学生の生活と音楽に関する調査」の回答用紙（関係者保管）の扱いに関わり、全国芸術系大学コンソーシアム等の動きも視野に入れ、学会として次の目標を決めてエビデンスを蓄積する活動を進める必要があることが確認された。また、今後に向けてワーキンググループを立ち上げることが提案された。

〈次回会議の予定〉 第2回常任理事会 7月11日（日）13時30分～15時（Web会議）

第3回常任理事会 10月15日（金）13時～14時30分（Web会議）

2. 2021 年度 日本音楽教育学会 第 1 回理事会

日 時：2021 年 4 月 24 日（土）14:30～16:20

場 所：オンライン開催（Zoom）

出席者：今川、本多、木村、石上、小川、川口、権藤、齊藤、佐野、嶋田、杉江、国府、笹野、
新山王、津田、中嶋、尾藤（記録）、日吉、村尾
開会に先立ち、今川会長より新年度に向けて挨拶があった。

【会務報告】〈2021 年 2 月 20 日以降〉（木村）

- 3 月 18 日 ニュースレター第 83 号 発行
- 3 月 31 日 『音楽教育学』第 50 巻第 2 号発行
- 3 月 31 日 2020 年度会計決算
- 4 月 18 日 2020 年度会計監査会（Web 会議）
- 4 月 25 日 2021 年度第 1 回常任理事会・第 1 回理事会（Web 会議）

【メール審議の報告】〈2021 年 2 月 20 日以降〉（木村）

- ・小畑千尋東北地区理事の移動に伴う欠員補充について、第 24 期理事選挙における次点者 2 名について選挙管理委員会で厳正なる抽選を実施した結果、川口明子会員が選出されたことが報告された。（会則第 11 条 3，4，細則第 23 条，理事選挙実施要領 6 による）
- ・「教科教育学コンソーシアム」の本学会が指名する理事を引き続き菅裕会員に委嘱すること、コンソーシアム会費、対面理事会議の際の交通費について、今川会長から提案がなされた。
- ・吉永早苗編集委員の辞任に伴い、編集委員に松信浩二会員を推薦することが承認された。

【審議事項】

1. 新入会員及び退会者について（木村）

2 月 21 日以降の新入会員 10 名及び申出退会者 28 名について承認した。また、2021 年 5 月末に 2 年未納だった場合、2020 年度で自然退会者となる正会員 49 名、特別会員 1 名について報告された。なお、再入会について、今後はシステム上新しい会員番号で登録されることが確認された。

- ◆正会員 新入会員（2021 年 2 月 21 日常任理事会以降）

個人情報保護のため削除しました

- ◆正会員 申出退会 28 名

（2021 年 4 月 23 日現在 正会員 1,585 名，学生会員 3 名，名誉会員 2 名，特別会員 3 名）

2. 2020年度決算報告及び監査報告（杉江・寺田）

杉江会計担当理事より2020年度決算報告、寺田会計監事より4月18日の会計監査会において適正な会計処理が確認されたとの報告があり、承認された。

3. 2021年度事業計画及び補正予算について（木村・杉江）

木村事務局長より2021年度事業計画案について説明があり、承認された。また、杉江会計担当理事よりHP管理及びシステム構築・改良等に関わる支出の必要性等、当初予算に対して修正を加えた補正予算案について説明があり、承認された。

4. 2022年度事業計画及び予算について（木村・杉江）

木村事務局長より2022年度事業計画案について、杉江会計担当理事より2022年度予算案について説明があり、承認された。

5. 第52回大会について（報告も含む）

(1) 大会実行委員会より（杉江・村尾・笹野）

第52回大会予算案が示され、臨時会員の参加費を2日5,000円、1日3,000円とし、学部学生参加者は1日参加・2日参加を問わず1,000円と設定することが報告、了承された。

大会実行委員会企画については、新しく中学校教科書に掲載された能「敦盛」を取り上げ、能楽師河村晴久氏によるワークショップ、ディスカッションを行う予定であること、院生フォーラムについては実施する方向で検討中であることが報告された。

(2) タイムスケジュールについて（石上・佐野）

午前は両日とも研究発表、1日目午後は会長・実行委員長挨拶、大会実行委員会企画、学会賞授賞式、総会、2日目午後は共同企画及び常任理事会企画（プロジェクト研究）を行う予定で調整中であることが報告された。

(3) プロジェクト研究について（石上・佐野）

2日目午後に常任理事会企画として実施することが報告された。

(4) 大会発表の成立要件等に関する内規について（今川）

「大会発表の成立要件等に関する内規」を改正し、申込時に周知を図ることが報告された。

(5) 韓国音楽教育学会 KMES ご招待について（今川）

KMES 会長の大会へのご招待を連絡し、詳細については調整中であることが報告された。

6. 2021年度第10回ワークショップについて（石上・佐野）

内容について現在検討中であることが報告された。

7. 学会賞について（今川）

4月20日にオンラインで開催された学会賞審査委員会にて、第7回学会賞受賞者に須田珠生会員が選ばれたことが報告された。授賞対象論文は「近代日本の小学校にみる校歌の歌詞の変容と郷土との関わり」（『音楽教育学』第49巻第2号）。第52回大会にて授賞式を行う。

8. 育志賞の推薦について (今川)

推薦の申し出がなかったため、学会から推薦は行わないこととした。

9. 電子投稿システムに関する投稿規定の改定 (小川)

オンライン投稿への移行に伴う投稿規定の改定について説明があり、承認された。

10. 教科教育学コンソーシアムについて (今川)

教科教育学コンソーシアム理事(会長特命)を引き続き菅裕会員に委嘱すること、コンソーシアム年会費(2万円)及び理事会出席に係る交通費は学会から支出することが承認された。

11. アンケート資料の扱いについて (今川)

1987年に本学会教育課程研究推進委員会の調査研究班が実施した調査研究「小中学生の生活と音楽に関する調査」の回答用紙について、個人情報保護法に抵触するような内容はなく将来的な研究利用目的も明示されているので、貴重なデータとして電子化して保存すること、学会における今後の活用に向け、検討のためのワーキンググループを立ち上げることが承認された。

12. 2021年度日本音楽教育学会参事の委嘱について (木村)

金崎惣一会員(J-STAGE)と松本哲平会員(国際交流)への2021年度参事委嘱が承認された。

【報告事項】

1. 各委員会等報告

(1) 編集委員会 (小川・齊藤)

第1回編集委員会が5月8日オンライン開催の予定であること、採否決定のための臨時委員会において『音楽教育実践ジャーナル』投稿1件を一部修正の上掲載可と決定したことが報告された。

(2) 広報委員会 (権藤)

ニューズレター第84号(5月18日発行)は初めてペーパーレスとなるため、情報をコンパクトに掲載、紙媒体も発行する第85号ではじっくり読んでもらえる内容にする。「会員の声」は、第85号で東海・北陸地区、第87号で近畿・九州地区に執筆を依頼することが報告された。

(3) 選挙管理委員会 (高木→木村)

今年度実施される選挙について準備が進められていることが報告された。

(4) 音楽文献目録委員会 (長野→木村)

2021年4月1日より「音楽文献目録オンライン」が公開となった。音楽文献目録委員会の母体団体である本学会の会員は、マイページからオンラインで本サービスを利用して文献検索ができる。また、母体団体に日本ポピュラー音楽学会が新たに加わった。以上報告された。

(5) APSMER 2021 大会実行委員会 (水戸→本多)

4月20日開催の大会実行委員会にて2日間のオンライン開催とすることが決定された。オンラインの基地は明治学院大学とする。3月末で発表応募を締め切り、Spoken Papers 148件、Posters 31件、Panel Discussions 6件、Workshops 9件、計194件の応募に対して4月末までに査読結果の通知を完了する予定である。以上が報告された。

2. 例会報告（尾藤・川口・中嶋・齊藤・国府・笹野・権藤・日吉）

- 北海道 1/24 発表7件 シンポジウム「21世紀の北海道の持続可能な音楽科教育を考える」で3名にお話しいただきグループ討論も行った。オンライン開催で参加者29名。
- 東北 2/28 発表8件 オンライン開催で例年よりも盛会となった。参加者34名。
- 関東 3/20 発表6件 シンポジウム「音楽を通して多様な子供たちをつなぐ」で3名にお話しいただき実施。参加者38名。オンライン開催、クラウドストレージも併用。
- 北陸 3/14 発表11件 オンラインで発表者が多かった。参加者25,6名。
- 東海 3/14 発表10件 対面とオンラインの併用で実施した。発表時間の確保が今後の課題。
- 近畿 3/13 発表7件 教職大学院の実践課題研究発表も含めた。オンラインで参加者60名。
- 中四国 3/7 発表10件 オンライン開催2会場で実施。会員に限定し、参加者27名。
- 九州 2/27 発表4件 講演「ICTを活用した遠隔合奏の可能性」で2名よりお話しいただき、愛知・宮城とつないだオンライン演奏も実践された。宮崎地区で企画。

（次回会議の予定） 第2回理事会 10月15日（金）14時30分～16時（Web会議）

6 事務局より

事務局長 木村 充子

1. 第52回大会について

第52回京都大会は、オンラインにて開催します。詳細は学会HPおよび申し込み用webサイト <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/52ongaku/>にてご確認ください。

研究発表・共同企画の申込および要旨登録〆切：2021年6月15日（火）15時

大会参加申込〆切：2021年9月24日（金）15時

大会参加費支払〆切：2021年9月30日（木）

大会参加費：¥4,000

※事前申込のみとなります。当日参加は受け付けませんのでご注意ください。

2. 年度会費納入のお願い

会費の期限内納入にご協力ください。会費未納の場合、大会での発表、送付物の受け取り、論文投稿などに支障が発生します。2年間会費を滞納すると自然退会になります。会費納入後、約2週間で事務局より年会費振込の確認メールが自動送信されます。メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。

3. 会員情報（所属先・住所など）の変更について

学会からの送付物が「宛先不明」にて戻ってきてしまうことが少なからず生じています。所属先・住所等に変更があった場合は、速やかに修正登録をお願いします。特に、新年度に所属先・住所が変更になった方はご注意ください。会員情報の変更は事務局では受け付けておりません。学会

HP「会員個人専用ページ（「マイページ）」からご自身で変更していただきますようお願いいたします。メールアドレスが未登録の方は「マイページ」に入ることができませんので、事務局まで至急メールアドレスをご連絡ください。

4. 第25期選挙について

今年度は第25期会長・理事選挙が行われます。選挙関係書類を確実に受け取っていただくために、ご自身の住所・氏名等が「マイページ」に正確に登録されていることをご確認ください。また、改選年度の2年前の年度会費を納入している会員のみが選挙権・被選挙権を得ることが定められていますので、年度会費の納入についてもご確認ください。（「マイページ」より納入履歴をご確認いただけます。）

5. 事務局について

現在、宇田川さん、亀山さん、徳山さん、若尾さんの4名が事務局業務を担ってくださっています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。なお、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、ご用件はEメールでのみ承っております。ただし、お返事までに数日かかることがあります、ご了承ください。

【編集後記】

3度目の緊急事態宣言の発令に伴う対応で、お忙しくされている方も多いと存じます。残念ながら、本年度の大会や APSMER2021 東京大会は、オンラインで開催される運びとなりました。皆様とお目にかかっていた情報共有が叶わないもどかしさがありますが、普段なら参加しにくい大会や研究会に気軽に参加できるのは、オンラインの利点ではないでしょうか。一部ではありますが、関連学会の大会等の情報もまとめましたので、ぜひご活用ください。

本年度より、年4回発行しているニュースレターのうち、5月と12月に発行予定の2回は、ウェブ版のみでのお届けとなります。印刷・発送に時間がかからない分タイムリーな情報をお届けできるよう、今後も誌面構成を工夫して参ります。会員の皆様からの最新の情報やご意見を、広報委員一同お待ちしております。

(塚原 健太)

【日本音楽教育学会事務局】

所在地：〒184-0004 東京都小金井市本町 5-38-10-206 Tel. & Fax. : 042-381-3562

E-mail : (半角) onkyoiku@remus.dti.ne.jp

私書箱：〒184-8799 東京都小金井郵便局私書箱 26*郵便物は私書箱へ

事務局員：宇田川・亀山・徳山・若尾

※新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み事務局開局の状況が不規則となることがあります。

ご用件はEメールにてお願いいたします。